

ナラティブTRPG
グリーン教徒
「魔女(魔法使い)」
シナリオ



20230829



エリー



目次

シナリオ	1
------------	---

シナリオ

<始まり>

あなたは、3歳でほうきに乗って、ふわりと飛びました。

7歳で生まれた村を離れて、魔女(魔法使い)として修行してきました。

薬草学を学び、会計や経営を学び、体を鍛えました。

かなり優秀で、将来を期待されています。

16歳のある日、上司に呼ばれると、1通の手紙を渡されました。

上司「この手紙をサンサリーンに届けてほしい」

引き受けますか？

ノーなら話は終わりです。

イエスなら続きます。

上司「全財産をもっていくといい」

1D100万ミミあります。

1万から100万

持っていきますか？

上司「明日の朝、旅立つといい。夜には港町につくだらう。そこで一泊して、海を越えてサンサリーンに飛べば2日で行く」

了解しますか？

<港町>

宿を決めます。

設定はストーリーには影響しません。

- 1、オリジナルで考える。
- 2、リストから選ぶ。
- 3、1D6 振って決める。

「宿リスト」

- 1、海が見える海鮮料理が自慢の漁師宿
- 2、繁華街の酒が自慢のいかがわしい宿
- 3、町外れの静かな家庭料理が自慢の宿
- 4、花が咲き乱れるハーブ料理が自慢の宿
- 5、鶏を飼っている農家の卵料理が自慢の宿
- 6、村人に誘われて家に泊めてもらう

どんな食事を食べたか、想像してみてください。

<訪問者>

明け方、目が覚めると足元に、青年が立っていました。

青年「驚かないで。話を聞いてください」

どうしますか？

ノーなら聞かずに旅に出ます。

イエスなら話を聞きます。

青年「わたしの友人が事業で失敗してスラムにいます。彼を助けるためにあなたのお金をくれませんか？」

イエス/ノー？

話を聞く？

青年「王都から手紙を渡されてサンサリーンに行くのでしょうか。ならば転送士に選ばれたのです。二度とサンサリーンから出られない。もうお金は必要ありません。だからわ

たしの友を助けてください」

転送士について聞きますか？

青年「聖なる山の地下にある秘密の魔方陣から、人や物を精神世界に運ぶ人たちの名前です。彼らは……」

続きを聞きますか？

青年「わたしたちの平均寿命は50歳ですが、転送士は30歳まで生きられないと言われています。心身を酷使するからです。しかし、太陽系が減んでも、精神世界は残ると言われています。意義のある仕事です。しかし逃げるなら手伝います」

それでもサンサリーンに行きますか？

逃げますか？

行くなら続く。

逃げるなら歩き魔女となる。

→止まれず、放浪する。エンド。

金をわたすか？

サンサリーンに行くか？

決断する。

<サンサリーン>

青年から話を聞いた場合

転送士「その顔は、事情を知っているね。手紙を読むといい」

手紙を開きますか？

手紙「この者を転送士に推す」

転送士「わたしたちの仲間になるか？」

どうしますか？

青年から聞いてない場合、説明を受ける。

どうするか？

転送士になる

あなたは、厳しい修行の果てに、転送士となり、死ぬまで転送しました。その業績は仲間の転送士しか知りません。

エンド。

断り王都に帰る

あなたは、魔女(魔法使い)修行を続けて、王政を支える一員になりました。しかし死ぬまで転送士の存在を忘れたことはありません。

エンド。

<価値を問われるポイント>

- 1、スラムに落ちた仲間を支援することに協力するか？
- 2、選ばれし影のエリート転送士になるか？

ナラティブTRPGグリーン教徒「魔女(魔法使い)」シナリオ20230829

著 ELYE

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
